

第24回 山梨県道路交通円滑化・安全委員会 議事内容

日時: 令和4年8月24日(水)9:30~11:30

場所: 山梨県立図書館(多目的ホール)

■委員会出席者

早稲田大学 理工学術院

創造理工学部社会環境工学科 教授

(一社)山梨県タクシー協会 会長

(一社)山梨県バス協会 専務理事

(一社)山梨県トラック協会 会長

山梨経済同友会 代表幹事

甲府商工会議所卸売商業部会 部会長

(一財)山梨県交通安全協会 専務理事

(一社)日本自動車連盟 山梨支部 事務所長

中日本高速道路(株)八王子支社

総務企画部 企画調整課 担当課長

高速道路事業部 交通管制課 課長

甲府保全・サービスセンター所長

国土交通省関東運輸局山梨運輸支局首席運輸企画専門官

山梨県観光文化部観光文化政策課長

山梨県県土整備部道路整備課長

山梨県県土整備部道路管理課長

国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所長

山梨県警察本部交通部 交通規制課長

国土交通省 関東地方整備局 道路部 道路計画第二課長

佐々木 邦明(委員長)

雨宮 正英

篠原 勇

坂本 幸晴

(代理:専務理事 中村 勇)

入倉 要

有野 義人

矢崎 正美

野村 昌志

(代理:推進課総務係(兼)事業係 三枝成己)

恩田 雅也

(代理:課長補佐 登坂 愛)

西田 匡志

吉田 英明

秋山 裕保

樋田 洋樹

(代理:総括課長補佐 田中 公代)

立川 学

(代理:道路企画監 関 俊也)

水口 保一

留守 洋平

大勝 和彦

(代理:規制第一係長 青木 貴博)

(オブザーバー)

(敬称略)

■議事内容

<渋滞対策>

1. 主要渋滞箇所に関する話題
 - ① 委員会の検討経緯と今回の論点
 - ② 第23回委員会意見への対応
 - ③ 主要渋滞箇所の見直し(最新の交通状況による分析)
 - ④ ピンポイント渋滞対策の検討状況
2. その他
 - ⑤ 道路利用者会議等からの渋滞対策要望箇所の検討
 - ⑥ バスデータの活用方法の検討
 - ⑦ TDM施策に関する検討
 - ⑧ 第25回委員会にむけて

<交通安全対策>

1. 委員会の経緯と今回の論点
2. 前回委員会(第23回)の振り返り
3. 第2次事故ゼロプランについて
4. 第2次事故ゼロプラン区間の対策検討について
5. 近年の交通事故対策効果評価報告
6. 経過観察箇所の取り組みについて
7. 今後のスケジュール

■審議結果

●渋滞対策関係

<決定事項>

- ・ 主要渋滞箇所の解除検討について、1箇所を経過観察とすることで、了承を得た。

<議事内容>

【委員意見】

- ・ 主要渋滞箇所の追加検討方法から外れるが、葬儀場に面する道路が特にお通夜の際に混雑している実感がある。追加検討の対象として、何らかの対策実施により、少しでも渋滞緩和できれば地域住民に非常に喜ばれると考えられる。別途、主要渋滞箇所の追加検討の中に組み込んで頂きたい。

【事務局回答】

- ・ お通夜などの単発の行事により、葬儀場に面する道路が突発的に渋滞発生する、などといった情報が、交通事業者から道路管理者または交通管理者にもたらされることはなかったが、短時間に大きな影響があるため、今後、できることがあるのか検討させて頂く。

【委員長意見】

- ・ 低頻度で突発的に発生する著しい渋滞の発生状況が、ETC2.0データを用いたモニタリングから確認できることが望ましい。どのような分析を行うと、突発的な渋滞発生が確認できるのか検討して頂きたい。

【事務局回答】

- ・ 承知した。

【委員質問】

- ・ コロナ対策をしている中で、お盆休み中の中央道のサービスエリアは混雑していたと思う。特にコロナ対策をしていると、トイレは密ということで使えず、行列になることを考えると、サービスエリアの滞在時間が通常より長くなっていると考えられる。そのような事象で何かトラブルになっていることが報告されていれば教えて頂きたい。

【委員回答】

- ・ まず、お盆の交通状況については、全般的にはコロナ前の2019年に対して、1割減くらいの交通量であった。休憩施設での滞在時間は常時観測できていないので状況は把握できていない。現地からは、大きな不具合や利用者からの苦情の発生などはなかったと思う。

【委員長意見】

- ・ ピンポイント渋滞対策の検討について、昨年度の検討箇所において、上り坂による発進遅れが要因のため対策が困難としていたが、ソフト対策の可能性について検討頂きたい。

【事務局回答】

- ・ ピンポイント渋滞対策の中で、例えば停止線の前出しをするといった対策を実施してきた。今年度のピンポイント渋滞対策において、従来の対策メニューに加え、ソフト対策の実施可能性や有効性も含めて、検討していく。

●交通安全対策関係

<決定事項>

- ・ 令和4年度交通事故多発地点について第2次事故ゼロプランに追加することを提示し、了承された。
- ・ 経過観察箇所の第2次事故ゼロプランへの追加する判定方法を提示し、了承された。

<議事内容>

【質問・意見】

- ・ 近年整備されている矢羽根について、どのようなものかの理解が進んでないと思われる。車のナビを使って矢羽根の役割を情報発信することは有効ではないか。
- ・ 自転車事故の多い交差点についても、車のナビで情報発信ができると、ハード整備との組合せで安全対策が有効になると考えられる。

【事務局回答】

- ・ 車のナビを活用するという話になると道路管理者の立場だけでは難しい側面がある。とはいえ、矢羽根などの対策は道路利用者が対策内容を理解していないと効果がないため、どのようにしたら道路利用者の理解促進が図れるかも含め今後検討させて頂く。

【委員長】

- ・ 経過観察箇所の取扱いにおける選定基準指標③について議論する上で、何をもち山梨県特有の事

故と考えるのか認識しておいた方がよいと思うので説明頂きたい。

【事務局回答】

- ・指標③の閾値については第 22 回委員会の際に承認頂いた数値となる。考え方については、改めて確認させて頂く。

【委員長】

- ・山梨県の特徴として観光客が多いため慣れていない人が多いのではといった話が、以前に挙げたかと思うが、そういったことについても検討して欲しい。

【事務局回答】

- ・次回以降に示させて頂く。

【質問・意見】

- ・横断歩道は歩行者が安全に車道を横断できる場所であるべきと思うが、信号機のない横断歩道において横断中の歩行者が事故に巻き込まれることが多々ある。歩行者の存在を感知した場合に点灯する埋め込み式のランプや横断歩道を照明で照らすなど車両運転者に注意喚起できるような仕組みの検討ができたりはしないか。

【事務局回答】

- ・ご意見を頂いたものが実現可能かについて確認させて頂く。

【委員長】

- ・中小河原交差点は主要渋滞箇所でもあるため、渋滞対策と連携した検討をお願いしたい。



第24回委員会の実施状況